

新年のごあいさつ



明けましておめでとございます。

皆さまにおかれましては、晴れやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、これまで規模縮小や中止になっていた事業や祭りなどが町内においても再開し、明るい兆しを感じた一年となりました。

長らく続いたコロナ禍は、私たちの暮らしの価値観が大きく変わる転換期にもなり、近年、SDGs(持続可能な開発目標)や脱炭素社会の実現に向けて世界各国が舵を切りはじめております。そのような中で、久山町の独自の「サステナブル(持続的)なまちづくり」が未来社会における成長志向のヒントになると多くの視察やメディア取材があり、全国的な認知度の高まりを感じました。

このことは、先人たちが時代の潮流ではなく、人々の普遍的な暮らしの幸福を追求してきた結果であり、改めて、本町の可能性を認識いたしました。

本年の干支、甲辰は、成功の芽が成長して姿を整えていく年と言われており、皆さまの暮らしの中にある幸せや楽しみを引き出し、その質を高めていく年だと捉えております。そのため、引き続き、物価高騰への対応策を含め、町民の皆さまの暮らしに必要なサービスの充実を図り、道路や橋梁などの生活基盤を整えてまいります。同時に、教育や健康、福祉など、暮らしの充実感や満足感につながる分野においては、社会背景を踏まえた変化に対応しながらも、未来に向けた投資に挑戦してまいります。

まちづくりの成果を一つ一つ着実に形にしなが、久山町に暮らす幸せを「実感」していただくことを大切にしたい。町政運営を展開してまいりますので、皆さまには引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、皆さまにとって、今年が多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和6年1月1日

久山町長 西村勝

新年明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和6年の年頭にあたり、町議会を代表し、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより行動制限も緩和され、学校行事や祭りなどでも皆さまが以前のように楽しむ姿を見ることができるようになりました。コロナ禍を経験したからこそ日常のありがたさが身に染みしました。

町議会におきましても、コロナ禍では本会議の傍聴席の縮小などの対応をしてまいりましたが、より開かれた議会を目指して、昨年9月の議会定例会から本会議のライブ配信および録画配信をスタートいたしました。パソコンやスマートフォン、タブレットがあれば本会議の様子をどこでも視聴することができます。また、配信に関するアンケートも実施し、皆さまのご意見を基に改善を図ってまいります。町民の皆さまが議会について関心を持っていただく契機になることを期待しているところでです。

また、定例会ごとに年4回発行しております議会だよりにつきまして

も、皆さまにとって、見やすく、わかりやすく、親しみやすく、そして皆さまが知りたい情報を伝えられる紙面となるよう広報委員会を中心に編集を行っております。

本年も、皆さまの議会に対するご意見、ご要望にこたえるべく、更に開かれた議会となるよう議員一同取り組んでまいります。

結びに本年が皆さまにとりまして実りある飛躍の年になりますよう心からご祈念申し上げますとともに、今後とも町議会への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和6年1月1日

久山町議会議長 只松秀喜

